

世界遺産

富士山

—富士宮市の構成資産BOOK—



まえがき

富士山は2013年（平成25年）6月にカンボジアのプノンペンで開かれた第37回ユネスコ世界遺産委員会で世界遺産となりました。登録された名前は「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」です。

富士宮市には、世界遺産としての富士山の価値を表す文化財（構成資産といいます）が6つあります。

この冊子は富士宮市内の小学5年生から中学3年生までのみなさん全員に配られています。

作製するためのお金は「世界遺産富士山基金」といって富士山の環境を守ったり、富士山を後世に伝えていくために設けられた積立金を使用しました。そして、この積立金はこの趣旨に賛同してくださる多くのみなさんの寄付で成り立っています。

そのようにしてつくられた冊子は、みなさんが世界遺産富士山のことをもっと知るきっかけになり、富士宮市をもっと好きになってもらえるように願って作製しました。

ですから、みなさんはぜひ一度はこの冊子を持って、次のページから紹介している場所に行ってみてください。

令和3年3月

富士宮市企画部富士山世界遺産課

富士山の神様

あさまのおおかみ
浅間大神

一番古い名前
神様としての名前

せんげんだいぼさつ
浅間大菩薩

神様と仏様と一緒に
まつられた時代の名前

だいにちによらい
大日如来

仏様としての名前

コノハナ
サクヤヒメ

富士山の神様は時代によっていろいろな名前でも呼ばれてきたんだ。名前はちがっても同じ神様だと考えられているよ。



富士山^{しん こう}信仰^{れき し}の歴史

富士山を拜む時代

昔の人たちは、富士山が噴火^{ふん か}するのは火の神様^{あさ}「浅間大神^{まのおおかみ}」が怒っているからだと考えました。人々は神様の怒りをしずめるために山のふもとに浅間神社を建てて、富士山^{おが}を拜みました。

富士山本宮浅間大社 → 09 ページ 山宮浅間神社 → 11 ページ



富士山で修行する時代

富士山の噴火がおさまると、富士山の神様や仏様から力をもらおうと、富士山^{しゅ ぎょう}に登って修行しました。村山には、修行のために多くのお坊さんが集まりました。

大宮・村山口登山道 → 07 ページ 村山浅間神社 → 13 ページ



一般の人が登山する時代

富士山で修行をした長谷川角行^{は せ がわ かく ぎょう}の教えを受けつぐ人たちが「富士講^{ふ し こう}」をはじめました。富士講は、富士山に登って拜むと幸せになれるという富士山^{しん こう}信仰で、一般^{いっ ぱん}の人に広まりました。そして今も多くの人が登山します。

人穴富士講遺跡 → 15 ページ 白糸ノ滝 → 17 ページ



せ かい い さん

世界遺産ってなんだろう？

世界遺産は、世界のいろいろな場所にある貴重きちゆうな建物や遺跡いせき、自然などをみんなの宝物たからものとして未来に向けて大切に守っていくためのものです。

世界遺産の種類

文化遺産

歴史的れきしに価値かちのある記念物、建物、遺跡などです

自然遺産

特徴的とくちゆうてきな地形や美しい風景けいせき、貴重きちゆうな動物や植物の生息地などです

複合遺産

文化遺産と自然遺産の両方の価値があるものです



富士山は
文化遺産
だよ



登録された正式な名前は

富士山—信仰の対象と芸術の源泉—

です。

どうして富士山は世界遺産なの？

昔の人にとって富士山は、^{ふん か}噴火をくり返すおそろしい山でした。そのため人々は、富士山には神様がいてと考えて富士山を拝みました。また、美しい富士山に感動して詩や歌をよんだり、絵を描いたりしてすばらしい作品がたくさん生まれました。

このように人々が長い間、富士山を特別な想いをもって^{しん こう}信仰したり、富士山の美しい形や、その姿をいろいろな芸術作品で表現してきた文化が認められて富士山は世界遺産になりました。

実際に富士山に登って^{おが}拝んだり、山のふもとにある^{しん せい}神聖な場所をめぐったりしたので、登山道や山ろくの神社、湖なども世界遺産の^{こう せい}構成資産として登録されています。

構成資産は富士山が世界遺産にふさわしいと証明するものとして選ばれた文化財のことです。

富士山には静岡県と山梨県に合わせて25カ所の構成資産があって、そのうち6カ所が富士宮市にあります。

構成資産って
なんだろう？



^{れき し}富士山の歴史や文化のすばらしさを説明するために構成資産があるんだよ！

けん ほん ちゃくしよく ふ じ まん だ ら す
絹本著色富士曼茶羅図



富士山で修行する人たちが浅間大社から村山へ向かい、山頂を目指す
 様子しゅぎやうが描かれています。室町時代むろまちに狩野元信かのうもとのぶが描きました。

浅間大社の宝物たからものとして保存ほぞんされています。

山頂には仏様の世界があると考
 えられていたん
 だよ



富士山頂



山頂には、3体の仏様が描かれて
 います。

たいまつをもって夜間に登山し、
 山頂で日の出を拝みました。

御室 → 07 ページ

中宮八幡堂



「女人堂」といわれ女性の登山はここまでしか
 認められませんでした。

(昔の富士山は男の人しか登れませんでした。)

「馬返し」と呼ばれていて、ここから先は馬を
 降りて歩いて登山しました。

村山興法寺 (浅間神社・大日堂) → 13 ページ



村山浅間神社は当時、興法寺というお寺でした。
 神様をまつる浅間神社と仏様をまつる大日堂が
 ありました。

登山の前に龍頭滝の水に入って心身を
 清める人が描かれています。

富士山本宮浅間大社 → 09 ページ

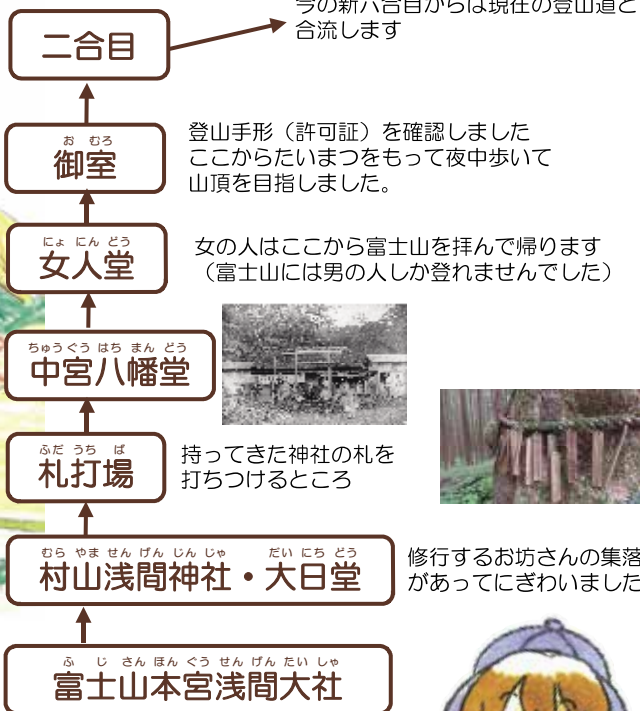


浅間大社にお参りをして、湧玉池
 に入って、心身を清めてから村山
 に向かいました。

富士山域 (大宮・村山口登山道)

富士山本宮浅間大社～村山浅間神社～富士山頂を結ぶ登山道

大宮・村山口登山道は、浅間大社をスタートして、村山を^{さんちやう}通って、山頂^{ほん い}へつづく登山道です。世界遺産としての登録の範囲は現在の富士宮口登山道の六合目以上です。平安時代に末代上人^{まつ だいしやうにん}というお坊さんが村山から富士山に登り修行^{しゆぎやう}したのがはじまりだといわれています。その後、多くのお坊さんが村山から修行のために登山し、その様子は前ページの「絹本著色富士曼荼羅図」に描かれています。



明治39年（1906年）に村山を通らない新しい登山道ができて、村山登山道は輝きを失いました。

神社やお寺に立ち寄ってお参りをしながら頂上を目指したんだね





だいきょうほう ちせいほう つじのほう

修行するお坊さんの集落

江戸時代、村山には村山三坊といわれる大鏡坊、池西坊、辻之坊という宿坊しゆくぼうがありました。村山三坊は修行のために登山する人たちの世話せわや富士山への出入りの管理をしました。また、興法寺や村山の集落、登山道の管理もしていました。登山の時期には多くのお坊さんが修行のためにやってきてにぎわいました。



平成28年8月7日岩淵鳥居講による奉納の様子（富士山頂）

富士山頂の鳥居

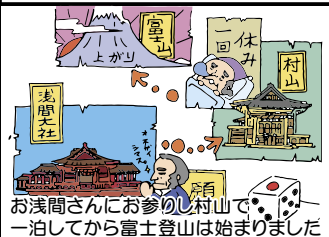
富士市岩淵いわぶちの人たちによって、江戸時代から12年に1度、申年に富士山頂さきに鳥居を奉納する行事が行われています。昔、富士川の渡し船を造るのに富士山の木材を使用していたので、そのお礼と渡し船の安全を祈るためだといわれています。

富士山に最初に登った外国人

外国人で最初に富士登山をしたのは、イギリス人の外交官オールコック（1809-1897年）です。1860年に江戸幕府ばくふに申し出て富士登山をしました。



オールコックの富士登山



富士山本宮浅間大社

富士山の噴火を鎮めるために建てられた神社



昔、富士山が大噴火したときに、人々は住むところも、食べるものもなく困りました。それを心配した垂仁天皇（紀元前69—70年）が浅間大社を富士山のよく見える場所にまつたのが浅間大社のはじまりだといわれています。

その後、110年ごろに日本武尊（72—114年）が山宮に場所をうつしたといわれています。（現在の山宮浅間神社がある場所です。）

さらに、806年に坂上田村麻呂（758—811年）が現在の場所に神様をうつして社殿を建てたといわれています。

なぜ今の場所にうつしたの？



現在の富士山本宮浅間大社は、富士山が噴火したときに溶岩の流れが止まったところであって、境内には富士山のわき水がわき出している湧玉池があります。湧玉池の横に神社が建てられたのは、豊富にわき出す水によって噴火をしずめるためとか、富士山を神聖な水源の山として大切にするためとかいわれています。

徳川家康と浅間大社

現在の浅間大社の建物を建てたのは徳川とくがわ家康いえやす（1543-1616年）です。関ヶ原の戦いに勝って天下を手に入れたお礼に1606年に建てました。本殿ほんでんは浅間造りせんげんづくといわれる2階建てで、ほかの神社ではみられません。



本殿

富士登山のスタート地点

昔、富士山に登る人たちは、浅間大社にお参りをして、湧玉池に入って身を清めてから出発しました。



湧玉池

歴史の有名人と浅間大社



富士山本宮浅間大社は歴史の有名
人からとても大切にされてきました



源頼朝は流鏝馬を奉納しました



武田信玄は桜の木を奉納しました



徳川家康は建物を奉納しました

わく たま いけ 湧玉池

富士山に降った雨や雪が地中にしみ込み、長い年月をかけてふもとまでたどり着き、わき出してできた池です。

やま みや せん げん じん じゃ
山宮浅間神社

富士山そのものを神様として拝む神社

昔は、富士山が何度も噴火をするのは、神様が怒っているからだと考えられていました。山宮浅間神社は、今から約1900年前（西暦110年ごろ）に富士山の噴火をしずめるためにつくられたといわれています。

富士山遥拝所



山宮浅間神社には、本殿（神様がまつられている建物）はなく、富士山を拝むための「遥拝所」があります。

遥拝所は、富士山が噴火した時に溶岩の流れが止まったところにあって、石が並べられています。これは、建物のあとではなく、祭りのときの役割ごとの席を表したものだといわれています。



山宮御神幸

平安時代になると富士山の神様は、^{あさまのおおかみ}浅間大神と呼ばれるようになりました。そして、現在の富士山本宮浅間大社（^{ふじさんほんぐうせんげんたいしや}里宮）にうつされ、山宮浅間神社（山宮）は浅間大社の「^{げんぐう}元宮」としてそのまま残りました。明治時代の初めまで、毎年春と秋に神様が山宮浅間神社と浅間大社を往復する「山宮御神幸」が行われていました。

山宮御神幸は、「神様が里帰りする」という意味や「田植えの春に農^{のう}業の神様として山から里に下り、収穫の秋に山に帰る」という意味があるといわれています。



山宮浅間神社のほこ立石



浅間大社の首標



丁目石

ほこ立石

山宮御神幸では、神様をのせた「ほこ」(儀式に使う剣のようなもの)を左肩に担いだまま、浅間大社から山宮浅間神社まで歩きました。休けいするときには、ほこ立石の上にほこを置きました。今も山宮浅間神社の参道に2つ、浅間大社のろう門前に1つ残っています。

御神幸道の丁目石

山宮浅間神社と浅間大社を往復する道を「御神幸道」といい、全長50丁(約5.45Km)あります。浅間大社には御神幸道の「首標」があります。そして、1丁目(109m)ごとに目印の「丁目石」と呼ばれる^{せきい}石碑が建てられました。今では丁目石のほとんどが失われていたり、残っていても場所が移されているため、山宮御神幸道の正確な道筋^{みちすじ}はわかりません。



むら やま せん げん じん じゃ

村山浅間神社

神様と仏様が一緒にいる神社



平安時代の終わりごろ、富士山は仏様で、
仏様が神様の姿になって現れていると考え
られていました。

これは日本に古くから伝わる神様の信仰と
外国から伝わった仏教が結びついて生まれ
た「神仏習合」の考え方です。

村山浅間神社の境内にはその名ごりとして
今も神様をまつる神社と仏様をまつるお寺
の建物がそれぞれ残っています。

末代上人

まつ だいしょうにん

末代上人(1103-?年)は富士山で厳し

しゆぎょう さんちやう だい にち にょ らい

い修行をして、山頂に大日如来という仏様

をまつる大日寺を建てたといわれているお

坊さんです。今は境内の高嶺総鎮守社に氏

神さまとしてまつられています。

神様になったお坊さん



富士山で修行する修験者

富士山の噴火がおさまると、たくさんのお坊さんが富士山の神様や
仏様の力を手に入れようと富士山に登って修行をするようになります。
これを修験しゅげんといい、修行するお坊さんは修験者しゅげんしやといいます。
末代上人いしの意志をつぐ多くの修験者が末代上人がもとを開いた興
法寺こうぼうじを訪れてお参りし、富士山で修行を
しました。

村山浅間神社と興法寺

明治時代には、神仏分離令しんぶつぶんりれい（仏様と神様は
別ですから一緒にしてはいけないという法ほう律）が出され、神社とお寺の間にはさくが作られました。そして、
富士山頂にまつられていた仏像は富士山から降ろされたのち、大日
堂にしまわれとびらが閉められました。



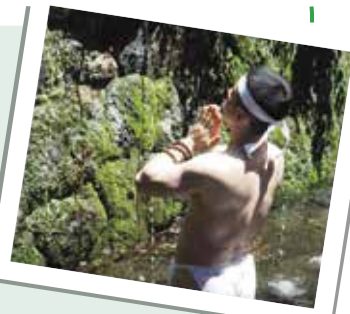
㊤村山浅間神社 ㊦富士山興法寺大日堂

さがして
みよう！

修験者しゅげんしやが使った施設しせつが今も残っているよ！

水ごり場

富士山に登る前に山からわき出る
神聖な水で身を清めた場所です



護摩壇

願いを書いた木を火に入れて
燃やし、お祈りした場所です



ひと あな ふ じ こう い せき

人穴富士講遺跡

江戸で大流行した富士講の歴史が残る場所

人穴富士講遺跡には溶岩洞くつ「人穴」と富士講の人たちが建てた200以上の石碑があります



洞くつの入口



人穴富士講遺跡の石碑

洞くつで修業した長谷川角行

長谷川角行(1541-1646年)は人穴の洞くつの中で、一日に何時間も角材の上につま先立ちする修行を1000日間したといわれています。一生けん命修行した角行は浅間大菩薩から角行という名前を付けてもらったそうです。

修業之神行角



わしが死んだ後も富士講の人たちは、わしが修行したこの場所を大切に思ってくれたんじゃない。たくさんの石碑を訪れた記念に建てていったのじゃな。

神様が住んでいる洞くつ

人穴は、角行の生きていた江戸時代よりずっと前からお祈りの場所だったようです。右のまんがは、「吾妻鏡」という鎌倉時代に書かれた歴史の本にのってるおはなしです。

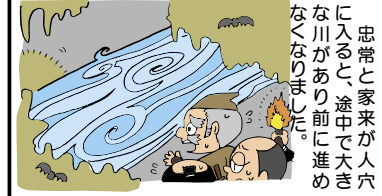
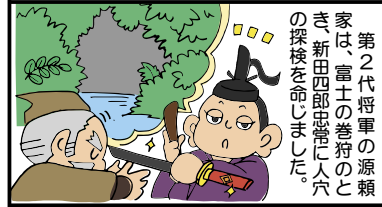
「吾妻鏡」には人穴には富士山の神様「浅間大菩薩」が住んでいるので人が中に入ってはいけないとも書かれています。



富士講って
なんだろう？

角行の教えを受け継いで、富士山を信仰する講（グループ）で、江戸時代に一般の人たちに広まりました。富士山に登ると家族の安全や幸せがかなうと考えられていて、講で登山のお金を積み立てて、講の中から何人かを選び、毎年代表して登山しました。富士講の人たちは往復で1～2週間かけて江戸に近い吉田口（富士吉田市）や須走口（小山町）から富士山頂を目指しました。富士登山の後には人穴や白糸ノ滝なども訪れています。

人穴の探検





しら いと の たき 白糸ノ滝

富士講の長谷川角行が修行した場所

白糸ノ滝は富士山の湧水が幅200メートルにわたってがけからふき出している滝です。富士講をはじめた長谷川角行が修行をした場所と伝えられていて、富士講の人たちが修行をしたり、お祈りしたりする場所でした。

白糸ノ滝での水行

長谷川角行は人穴での修行中に白糸ノ滝に通って、昼に3回、夜に3回、水行をしました。さらに、一日に33回白糸の水をのんで心身を清めて1000日間の修行をしたといわれています。

水行って
どんなことを
するの？

水行は水に入ってわき水で心身を清める修行です。滝つぼで虹に包まれながらじゅもんを唱えて、ふしぎな世界に導かれたといわれています。



角行さんの修行



さがして
みよう!

富士講の人たちが建てた
石碑が残っているよ!

じきぎょう み ろく

食行身祿(1671-1733年)は、
角行の亡くなった後に富士講を
広めた人です。身祿が亡くなった後
100年目にこの碑が建てら
れました。



食行身祿の碑
1833年造立



仙元大神の碑
1914年造立



富士講の人たち

角行が修行した白糸の滝も
富士講の人たちにとって
大切な場所だったんだね



源頼朝と白糸ノ滝

みなもとのよりとも

鎌倉幕府を開いた源頼朝(1147-1199年)は1193年に
富士山のふもとで大規模な戦の訓練「富士の巻狩り」しま
した。その時に、白糸の滝を訪れて和歌をよんだといわれ
ています。



この上に いかなる姫も おわすらん
おだまき流す 白糸の滝

「おだまき」は糸を玉のように巻いたもので、滝の美しさを女性が
糸を紡いでいる姿にたとえてほめました。

お鬢水

白糸の滝の上には、頼朝が鬢(髪の毛)のほつれを直したと伝わるわき水
があります。



行ってみよう!

富士宮市内の構成資産

ぜひ来てね!

構成資産には案内所があって
ガイドさんがわかりやすく
説明してくれるよ!

富士山本宮浅間大社



浅間大社観光案内所 寄って宮

所在地 富士宮市宮町1-1

時間 9:00~16:30 (平日)

9:30~15:30 (土・日・祝)

山宮浅間神社



山宮浅間神社案内所

所在地 富士宮市山宮740

時間 10:00~15:00 (土・日・祝)

村山浅間神社



村山浅間神社案内所

所在地 富士宮市村山1151

時間 10:00~15:00 (土・日・祝)

人穴富士講遺跡



人穴富士講遺跡案内所

所在地 富士宮市人穴206

時間 10:00~15:00 (土・日・祝)

白糸ノ滝



所在地 富士宮市上井出273-1

時間 10:00~15:00 (土・日・祝)

※1~2月はガイド休み

※洞くつ内の見学は予約が必要です

問合せ 富士宮市役所文化課
0544-22-1187

市外・県外の構成資産

富士山の構成資産は静岡県と山梨県に合わせて25か所あります



行ってみよう！

静岡県富士山世界遺産センター



富士山に登った気分になれるよ！



館内はゆるやかに上がっていくスロープになっていて、壁に映る富士登山の動画を見ながら歩けるようになっているよ

料金

300円

※小中学生は無料で入れるよ



問合せ 静岡県富士山世界遺産センター ☎0544-21-3776

バスで構成資産に行けるよ！

富士宮市内定期観光バス

ごうりき
強力くん



毎週土曜日・日曜日・祝日に走っているよ
(富士宮駅発着)

料金

午前コース：1050円 午後コース：1550円

一日コース：2250円 ※小学生は半額だよ

問合せ

富士急静岡バス株式会社 ☎0544-26-8151



読んでみよう！



ブックちゃんのふじのみや探検

たんけん



いろいろな富士宮のひみつが楽しく学べるよ。
調べ学習や自由研究にもおすすめ！
市内の図書館や交流センターで無料でもらえるよ。

問合せ 富士市立中央図書館 ☎0544-26-5062

みんなで守ろう 世界遺産富士山—信仰の対象と芸術の源泉—



富士山世界遺産国民会議という団体が子ども向けに出しているんだ。世界遺産富士山のことがわかりやすく書かれているよ。

問合せ 富士宮市役所富士山世界遺産課 ☎0544-22-1489

富士山世界遺産巡り—全25の構成資産アクセス&ガイド—



市外県外の構成資産が全部のっている地図。
見学に行くときに便利だよ。

問合せ 富士宮市役所富士山世界遺産課 ☎0544-22-1489

ぜひ一度
行ってみてね!



発行：  富士宮市 企画部富士山世界遺産課

〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地
TEL:0544-22-1489 FAX:0544-22-1206
E-mail:sekai@city.fujinoimiya.lg.jp



富士山世界遺産課
ホームページ

発行日：令和3年(2021年)3月
イラスト・まんが：根上友里